

平成30年 4月市長定例記者会見

日 時：平成30年4月4日（水） 午前11時～11時30分

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、朝日新聞、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、射水ケーブルネットワーク、庄東タイムス、ホットライン KOSUGI

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、生涯学習・スポーツ課長、地域福祉課長、生活安全課長、港湾・観光課みなとまちづくり係長、未来創造課長（司会）

質疑応答の概要

Q 1 . 平成29年5月から4回にわたって募集を行った地域おこし協力隊が今回決定したことについて今の思いを伺いたい。また、市長が目指している射水市の理想像に対して、地域おこし協力隊の方にどのような役割を果たしてほしいと考えているのか伺いたい。

A 1 . 昨年の5月から今年の2月まで4回にわたって募集してきた待望の方であり、素直に喜んでいる。豊富な経験やアイデアを持っておられる活動的な方であり、そういった面を生かして射水市のスポーツの振興・活性化に力をいただきたい。具体的な活動内容については、市内の色々なスポーツの活動・拠点を見てご提案をいただきたい。例えば、ハンドボールの企業チームであるアランマーレやアイシン軽金属の相撲部など、頑張っている企業のチームと地域の市民の皆さんとをつなぎながら市民みんなで応援をしていく、そして、スポーツを観たり伝えたりする体制が出来上がればいいと考えている。市内においては総合型地域スポーツクラブの活動が、かなり浸透してきている部分もある一方、今の中学校の部活動のあり方といった課題については教育委員会等々の中で検討していかなければならない。そうした中で、地域と総合型地域スポーツクラブとの連携を高めるため、コーディネートの役割を担っていただきたい。（市長）

Q 2 . 富山新港開港50周年の節目の年である。県とは記念イベントや式典等の打ち合わせをされていると思うが、現段階でどのようなスケジュールで何をするかを伺いたい。

A 2 . 県とは実行委員会の中で協議している。現段階でお話できる内容としては、例えば、海王丸パーク内で整備が進められていた見晴らしの丘(展望広場)の落成式が11日に予定されている。富山新港開港の日である4月21日には毎年船舶訪問をしているが、今年は開港50年の節目の冠をつけながら、引き続き行う。7月に予定されている記念式典やその他の記念イベントについても、まとめ次第改めて発表する。(市長)

Q 3 . スポーツ推進コーディネーターという位置づけで地域おこし協力隊を募集されたが、スポーツを通じたまちづくりやコーディネーターの方を迎えてスポーツを振興していこうと考えられた背景もしくは経緯を伺いたい。

A 3 . 経緯については、ハンドボールチームのアランマーレやアイシン軽金属の相撲部等が企業スポーツに取り組み、頑張っておられるということを知り、地域の皆さんにも広く知っていただき、スポーツの連携・つながりの機会を通し、地域の活性化につなげていきたいという思いからである。リオ・デジャネイロオリンピックでは田知本遥選手が金メダルを獲得するなど、市内では柔道が大変盛んである。毎年日の丸キッズという北信越エリアを対象とした柔道の大会が開催されている。市では、これらの大会の実行委員会が立ち上がっているが、こうしたところの準備や盛り上げといった部分で機動的に動いていただきたい。そして、オリンピックも近い中で、市内全域でスポーツの振興に取り組みながら、スポーツを通じて市の景気や活性化につなげていきたい。このような思いから市の人材ではなかなか考えつかないようなアイデアを提案し、実行していただくことに期待して地域おこし協力隊を公募した。(市長)